

●(公社)全国学習塾協会について●

■協会の主旨

公益社団法人全国学習塾協会は、民間教育を担う団体・個人に関する支援及び能力開発、調査研究、地域社会に対する貢献の推進等を行うことによって児童及び青少年等の学力養成の推進に寄与し、より良い社会の形成を推進することを目的として設立された公益社団法人です。

自主ルール普及推進、学習塾講師検定や学習塾法務管理者等の人材育成、全国読書作文コンクールの開催、お客様の安心・安全のためのガイドライン普及推進、学習塾事業者のコンプライアンス活動支援などを行うことによってお客様に信頼されるよりよい学習塾業界の確立に成果を上げさせていただいております。

学習塾協会のあゆみ

昭和62年9月25日	自主規制規約制定
昭和63年10月8日	社団法人全国学習塾協会設立
昭和63年11月27日	設立記念式典、会報JJJA創刊
平成元年10月9日	第1回塾フェスティバル (塾の日記念式典)
平成2年7月	第1回全国読書作文コンクール
平成6年4月1日	自主規制規約改正
平成7年7月23日	協会ニュース創刊
平成10年6月10日	協会ホームページ開設
平成10年10月1日	設立10周年記念式典
平成11年3月24日	プライバシーマーク指定審査 機関となる
平成11年5月	第1回サービス評価調査実施
平成11年11月22日	学習塾業界における事業活動の 適正化に関する自主基準制定
平成12年8月	第1回全国学力コンクール実施
平成14年6月29日	国際教育フォーラム(於:ギリシャ) に招聘
平成15年5月6日	文部科学省主催の全国奉仕活動・ 体験活動推進協議会に委員参加
平成16年7月4日	学習塾法務管理者制度開始
平成18年3月16日	学習塾に通う子どもの安全確保 ガイドライン制定
平成20年4月	学習塾講師検定制度開始
平成20年10月12日	設立20周年記念式典
平成22年5月	地方自治体(大阪府大東市)と 学力向上推進事業で連携開始
平成24年4月1日	学習塾認証制度開始
平成24年10月	学習塾業高齢者活用推進 ガイドライン制定
平成25年4月1日	内閣総理大臣より公益認定を 受け社団法人から 公益社団法人へ移行



信頼と安心のしるし

全国学習塾協会は、学習塾が正しく認識され信頼されることをめざして昭和63年10月に設立された経済産業省の許可団体です。その後、平成25年4月には内閣総理大臣より公益認定を受け公益社団法人となりました。私たちは輝く未来のために、心をこめて子どもたちとともに歩みます。

■信頼のための制度と講師の育成

学習塾認定制度



学習塾認証制度とは、消費者が安心してサービスを利用していくために、サービスの質や信頼性について、第三者者が評価し認証を与える取り組みです。認証された学習塾事業者は、当協会の発行する認証マークを事業所や広告に表示することができ、消費者はこの認証マークを目印に、適切なサービスを提供する事業者を選択することができる安心の制度です。当協会は、サービス産業生産性協議会が公表したガイドラインに沿った認証基準に基づき審査を行い、法令を遵守し、公正な取引を行う学習塾事業者に対して、認証を付与しています。

職員研修・講師育成

学習塾講師が身につけるべき知識・技術・能力をひとつの行動基準一覧にして可視化し、誰でも塾講師スキルを学べるようにしました。行動基準一覧は、学習塾講師が授業を行う際に実施すべき行動を「(1)授業の流れ」、「(2)各段階で望まれる行動」を軸に分類して整理しています。学習塾講師の得意・不得意分野を明確にして、不得意分野は克服して基礎力を身につけるとともに、得意な分野はさらに磨きをかけることによって、学習塾講師自身が理想とする優れた学習塾講師を目指すことを目的としています。

また、学習塾職員がお客様により信頼されるためにコンプライアンスに関する研修の場を提供しています。

■協会の取り組み

積極的にすすめる全国読書作文コンクール



当協会では全国読書作文コンクールを通して子どもたちが読書・作文に親しむことで「子どもの居場所」を提供するひとつの機会となることを願い、毎年、協会主催で全国読書作文コンクールを開催しています。全国読書作文コンクールは、児童生徒に良書との出会いにより感動することのすばらしさを体得する機会を与え、豊かな感性を育むとともに、その感動を文章に表現することによって読書力・文章力・創造力の向上を図っています。

子どもと消費者の安心・安全のために

お子様の安心・安全のために「学習塾に通う子どもの安全確保ガイドライン」や「学習塾事業者における新型インフルエンザ対策ガイドライン」、「学習塾における地震等防災ハンドブック」を定め、それを実践するよう普及推進しています。学習塾事業を行う上で事業者が守るべき基本的事項として「学習塾業界における事業活動の適正化に関する自主基準」を定め、それを実践するよう普及推進しています。

また、お客様の大切な個人情報を守るために「学習塾における個人情報保護に関するガイドライン」を定め、普及推進しています。

未来の子ども達の学力向上ために

公益社団法人全国学習塾協会と連携しましょう！

公立
小中学校



公益社団法人
全国学習塾協会

学習塾と公教育の連携

子ども達

みんなそろって、
学力向上
ゼミ！



みんなそろって、学力向上ゼミ！

■学習塾と公教育の連携に至る背景

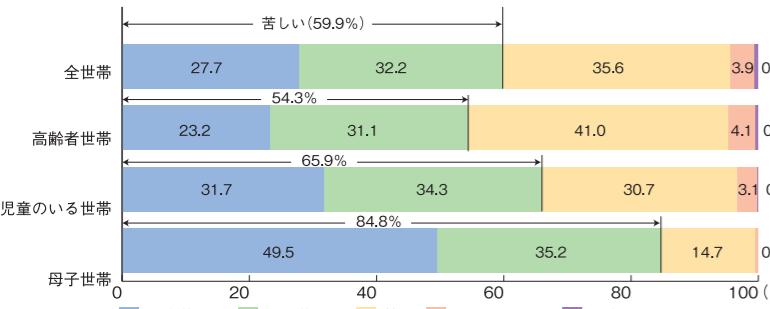
◆土曜日の教育活動を推進する文部科学省

土曜日の教育活動を豊かにするため文部科学省が平成25年「土曜日の教育活動推進プラン」を発表し、学習塾にも協力を呼びかけています。平成26年度概算要求には、①土曜授業推進事業に2億円、②地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制などの構築事業に18億円の予算組が出されました。

◆子どもの貧困率の増加

厚生労働省がまとめた国民生活基礎調査で、平均的な所得の半分を下回る世帯で暮らす18歳未満の子どもの割合を示す「子どもの貧困率」が、2012年に16.3%と過去最悪を更新。同省は「当時はデフレ下の経済状況で、子育て世帯の所得が減ったことが原因」としています。こうした社会背景が子ども達の学業にも大きく影響し、学習塾と公教育の連携で安く抑えられた受講費用にも保護者の関心が高まっています。

■生活意識別にみた世帯数の構成割合(平成25年調査 厚生労働省)



■学習塾と公教育の連携が始まる

教育委員会や地方自治体から学習塾業(民間教育機関)に対し教育資源としてのニーズが高まっている現状において、児童生徒の学力向上のために積極的に連携・協力を行っています。(公社)全国学習塾協会は平成22年から「学力向上推進事業」の名で大阪府大東市と連携(詳細は右記参照)を始めました。

学習支援事業の内容

- 1)開講日並びに時間
 - ・土曜日並びに平日指定日
 - ・1コース1時間～1時間30分
- 2)クラス定員:上限30名
- 3)授業スタイル:集団講義指導を前提とし内容は予習を基本とした単元別指導とします。
- 4)経費について ※別紙参照

参加した 子ども達 の声

- 無料で参加したが、期待以上だった。
- 集団だと質問がしにくいが、先生が早めに来ているので、早めに行って質問したり、過去問の解説をしてもらったりして取り組みやすかった。
- 予習が分かりやすく、学校の勉強がやりやすかった。
- 先生の教え方が分かりやすく、勉強する習慣が身に付き学力が上がった。

大阪府大東市の取り組み

大阪府大東市が実施している「学力向上ゼミ」では教育委員会と公益社団法人全国学習塾協会が連携し、市内の小・中学生を対象に土曜日に算数・数学・英語を指導。子どもや保護者からの評価は高く、今後、他地域でも広がる可能性がでています。

●契機

大阪府大東市において、学力が低調なことを懸念して、すでに学校で土曜教室を実施していたが、参加者が少なかった。土曜授業に学習塾を活用しようという市長の発案があり、市教委の合意も得て予算化することになった。委託先には、特定の学習塾事業者を選ぶという選択肢もあったが、公益性の高い非営利組織をとの考えから当協会に打診があった。

●目的

市内の小学4、5、6年生、中学1、2、3年生の学力向上を確かなものにするため、一年間のカリキュラムを策定し実施する。

●業務内容

- ①指導内容…
教科書を中心とした予習型学習及び教科書準拠問題集による学習
- ②指導別形態…1対多數の講義型及び個別指導型

③派遣指導者数…

小学生の算数の指導者6学級分、中学生の学年毎、数学3学級分、英語3学級分

●特徴

学校の授業導入がスムーズにいくように「予習型」。

【月刊私塾界の取材記事より抜粋】

土曜日の朝、大阪府大東市役所横にある市民会館には小学生が続々と集まってきた。ある子は保護者に送られて、ある子は自転車で、また友達同士で…子ども達を追って建物に入ると部屋の前にはすでに長蛇の列。宿題である算数のテキストを持って並ぶ子ども達の先にはそれをチェックする先生。これは大東市が行っている学力向上推進事業(学力向上ゼミ)の一場面だ。この学力向上ゼミは市内2ヶ所にある青少年教育センターの事業として平成22年度に始まったもので、当初は特定地域の小学校6年生と中学生を対象にしていた。23年度からは前年の実績を基に、対象範囲を小学生4年生から拡大。会場も増やし、今年度は市内3会場で実施されている。午前中は小学生の算数が、午後からは中学生の英語と数学が行われ受講料の自己負担は月1,000円(中学生は2,000円)とテキスト代のみ。受講希望者は年々増加しており、抽選で受講者を決めている。会場の一つである市民会館では当初24名だった一クラスの定員を急遽倍増させたが、それでも抽選に漏れ受講できない子どもがいる。

講師は公益社団法人全国学習塾協会の会員塾から派遣され、一年間のカリキュラム作成も協会側が行う。中学生は数学と英語を、小学生は算数を毎週土曜日に一時限ずつ、年間で計44回のカリキュラムとなっている。授業方法は、個別指導ではなく講師が授業を行う集団指導。この学力向上ゼミは「各学校での授業における予習的な位置づけ」とされており、募集時にそれを謳っている。学力別のクラス分け等は行っていないため授業に付いてこられない子どもも当然出てくるが、ゼミの後に学校で同じ単元をもう一度学習するため全く問題はない。週一回といふ僅かな時間ではあるが、ゼミの授業である程度要点を学習するため、これまでの受講生からは「学校の授業が理解できた!」という声や「成績アップにつながった」という声も上かがっているとのことだ。

掲載誌の月刊私塾界(2013年7月号)▶



■子ども達へのメリット

学力向上もあるが、対象が市内の小学校と中学校に通う児童・生徒のため、学校という垣根を越えての友達作りができる。また、学校間での情報交換や勉強の仕方なども自然と話ができるようになり、コミュニケーション力も付きます。

▼MBS「ちんぶいぶい」(2015年5月27日放送)の特集で取り上げられる。



塾ジャーナル(2016年1月号)▶

▲協会の取り組みが文部科学省の「土曜日の教育活動支援に関する資料」に掲載(2013年)



※掲載記事以外に
全国五大紙にも
取り上げられました。

<スタンダードモデル校●現在の連携自治体一覧表>(平成28年4月現在)

自治体名	事業名	会場数	対象学年と実指導科目・コース数(1回50分)		実施日回数	保護者負担額(円)		参加者(28年度)	
			小学生 (4、5、6年)	中学生		小学生 受講料 (月額)	教材費	中学生 受講料 (月額)	教材費
大阪府大東市	「学力向上ゼミ」	3会場	算数・15コース 能力編成コース	1、2、3年 ●英語・数学 12コース	土曜日 40回	1,000	1,200	2,000	2,400
大阪府門真市	「kadoma ドリカム」	1会場		3年(選抜) ●英語・数学 各2コース ●選抜コース	火・金曜日 90回 補習10回			無料	2,600
大阪府忠岡町	「忠岡町 あすなろ未来塾」	1会場	算数・9コース 能力編成コース		土曜日 40回	1,000	1,200		130
三重県伊勢市	「伊勢市 「学習サポート」」	2会場	算数・3コース	1、2、3年 ●6コース	土曜日 28回	無料	1,200	無料	25
宮城県大和町	「土曜学習 「まほろば塾」」	1会場		3年 ●6コース ●能力編成コース	土曜日 14回			無料	1,200

*学習指導は義務教育課程の指導要領を逸脱することなく、日々の学校での学習がより良く分かることを前提とした指導を基本に生徒個々の能力を引き延ばす指導を行います。
*指導形態は1コース15名～30名の集団指導を原則とし、内容は学習指導計画書に基づいた予習を基本とする学習指導とします。実施規模にも基づいた能力編成コースも実施します。
*中学三年生に関しては、受験期には受験指導を行います。尚、生徒の要求に応じて他教科(理科・社会等)の指導に関しても臨機応変な対応を取らせていただきます。

保護者の声

- 土曜日の子ども達の過ごし方としていい機会を与えてくれた。
- 学校以外のところで、大人と接する機会ができるのが良い。
- 勉強以外に挨拶なども指導され、子ども達にとって充実した時間を過ごせている。
- 無料講習は大変ありがたかった。
- 英語・数学以外の教科も土日に集中して補習していただき助かった。
- 学習に前向きに取り組めるようになりました。
- 親身に熱心に教えて頂き、親として1年間感謝の思いでいっぱいです。
- 塾に行かせていない不安がありました。英語数学だけでなく、他の教科まで広げていただきプリントも多く配布いただき、確認テストもありで、内容の濃さに驚きました。